

縁のめぐりあわせのおそろしさ

やるべき業縁ごうえんのもよおせば、

いかなるふるまいもすべし（歎異抄）

善いことをするのは、その人の性根が善いからではない、悪いことをするのは、悪人だからではない。すべてがめぐりあわせで、善いことをしたり悪いことをしたりするのは、と親鸞は言います。

私たちは人の不正や失敗を批判しがちです。その時、批判の多くは、自分はそんなこととはしないという立場でなされます。しかし、めぐりあわせがあれば、誰しもが同じようなことをしてしまうのが私たちなのです。そのような事実を教えられる時、そこへ起こるのは、批判ではなく赦ゆるしではないでしょうか。

